

令和7年第6回富山県教育委員会議事日程

5月30日（金）午前10時

県庁4階大ホール

1 会議録の承認について

令和7年4月30日開催の令和7年第5回富山県教育委員会会議録の承認について

2 報告事項

(1) とやま科学オリンピック2025の開催について

教育企画課長から説明した。

(2) 第3回富山県公立夜間中学設置検討協議会の報告

教育みらい室課長（夜間中学設置準備担当）から説明した。

(3) 令和7年3月高等学校卒業者の就職状況について

教育みらい室県立高校課長から説明した。

3 今後の教育委員会等の日程について

4 議決事項

議案第12号 令和8年度使用義務教育諸学校用教科用図書採択に係る諮問事項の件

教育みらい室小中学校課長から説明し、原案のとおり可決した。

議案第13号 令和7年度富山県教科用図書選定審議会委員委嘱（任命）の件

教育みらい室小中学校課長から説明し、原案のとおり可決した。

※地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条7項により、議案第12号および議案第13号は非公開となりました。

とやま科学オリンピック2025大会について

1 目的

- ・科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、子どもたちが持っている様々な力や可能性を伸ばす。
- ・科学オリンピックに参加した経験により「生きがい・希望実感」や「友人とのつながり」などのウェルビーイングの構成要素の実感が高まり、持続的なウェルビーイングの向上を図る。
- ・「科学の甲子園ジュニア全国大会」及び「科学の甲子園全国大会」の富山県予選として全国大会に出場する生徒及びチームの選抜を行う。

2 2024大会からの変更

- ① 中学校部門で実施会場の集約（4会場→2会場）
- ② 中学校部門の参加対象に小学6年生の参加を認める。
- ③ 高校部門で総合戦（団体戦）を新設
- ④ 高校部門の個別戦で、複数分野の受験が可能

3 大会の概要

<中学校部門>

日時 8月2日（土）9：30～13：00
会場 富山会場：富山中部高校 高岡会場：高岡高校
対象者 中学校1～3年生、小学校6年生
（義務教育学校、特別支援学校の同年次の生徒）
※小学校6年生の参加を認める。
内容 数学、物理、化学、生物、地学、情報の総合問題（筆記）に個人で取り組む。（検査時間120分）
表彰等 ・総合成績の上位者を表彰する。
・成績上位の生徒6名を、12月に開催される「科学の甲子園ジュニア全国大会」の富山県代表候補とする。

<高校部門>

日時 8月8日（金）【個別戦】 9：00～12：30
【総合戦】 10：00～15：30

会場 富山大学理学部
対象者 高校1、2年生（高等専門学校、特別支援学校の同年次の生徒）
※個別戦に限り、中学校3年生の参加を認める。

内容

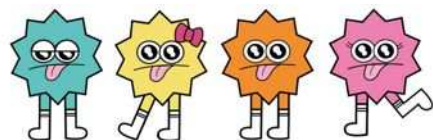
- 【個別戦】
- ・原則としてペア（2人1組）で筆記問題に取り組む。（異なる学校同士のペアも可）
 - ・ペアで「数学」「化学」「物理または生物」の各分野のうち、1～3分野を選択して受験することができる。（検査時間各分野50分）
- 【総合戦】
- ・同じ高校に所属する3～6人でチームを構成し、筆記問題（数学、物理、化学、生物、地学、情報）と実験問題（物理、化学、生物）に取り組む。
 - ・筆記問題はチーム全員で取り組む。（検査時間60分）
 - ・実験問題はチームの構成員が3分野に分かれて取り組む。（検査時間120分）

表彰等

- 【個別戦】
- ・分野ごとに成績上位のペアを表彰する。
 - ・3分野を受検し、すべてで金賞を受賞したペアには「三冠賞」を授与する。
- 【総合戦】
- ・筆記問題1～3位、実験問題の各分野1～3位、筆記問題、実験問題の合計得点の上位3チームを表彰する。
 - ・優勝チームを、来年3月に開催される「科学の甲子園全国大会」の富山県代表とする。



公式マスコットキャラクター
ライアップ君



公式アシスタントキャラクター
サイエنشユタインズ

富山北部高校情報デザイン科作成

とやま科学オリンピック2024の開催結果について

標記大会を令和6年8月3日（土）及び9日（金）に開催したところ、431人の生徒の参加がありました。その概要を報告します。

1 目的

- ・子どもたちの科学に対する関心を高めるとともに、科学的才能や論理的な思考力、問題解決能力など、多くの子どもたちが持っている様々な力や可能性を伸ばす機会を提供する。
- ・数学や理科を中心とした自然科学だけでなく、国語や社会を中心とする人文・社会科学にも広く共通する科学的なものの見方、考え方を養う。

2 開催日時及び会場

○中学校部門

令和6年8月3日（土）9：30～11：00

（新川会場）魚津高等学校 （富山会場）富山中部高等学校

（高岡会場）高岡高等学校 （砺波会場）砺波高等学校

○高校部門

令和6年8月9日（金）9：20～12：15 ※時間は分野により異なる

（数学・物理・化学）富山大学理学部 （生物）県総合教育センター

3 参加者数

| | | | | |
|-------|------|-----------|---------|-----------|
| 計 | 431人 | (465人) | ※ () は | 昨年の参加者数 |
| 中学校部門 | 244人 | (256人) | | |
| 高校部門 | 187人 | (209人) | | |
| | 数学 | 79人 (72人) | 、物理 | 20人 (30人) |
| | 化学 | 67人 (90人) | 、生物 | 21人 (17人) |

4 実施内容

【中学校部門】

- ・個人参加。検査時間は90分。
- ・自然科学（理科・数学）を中心とした統合問題に取り組む。

【高校部門】

- ・2人一組のチームで共通問題と分野問題に取り組む。

(1) 共通問題

共通問題は、数学必修、物理・化学・生物から2つ選択して取り組む。60分

(2) 分野問題

- ・数学は筆記問題にチームで取り組む。80分
- ・物理は実験を伴う問題にチームで取り組む。90分
- ・化学は実験を伴う問題にチームで取り組む。90分
- ・生物は筆記問題および実験・観察を伴う問題にチームで取り組む。80分

5 アンケートの結果

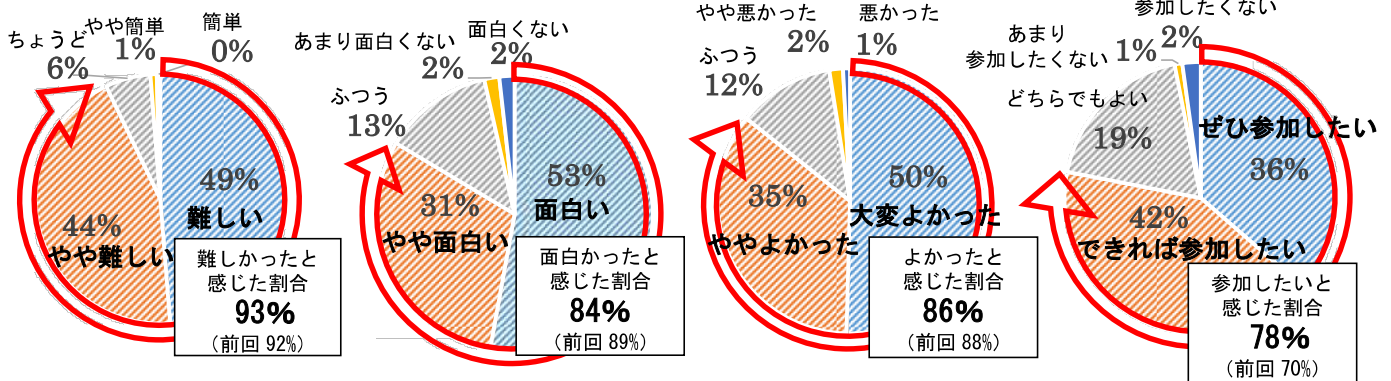
問題は難しかったですか

問題は面白かったですか

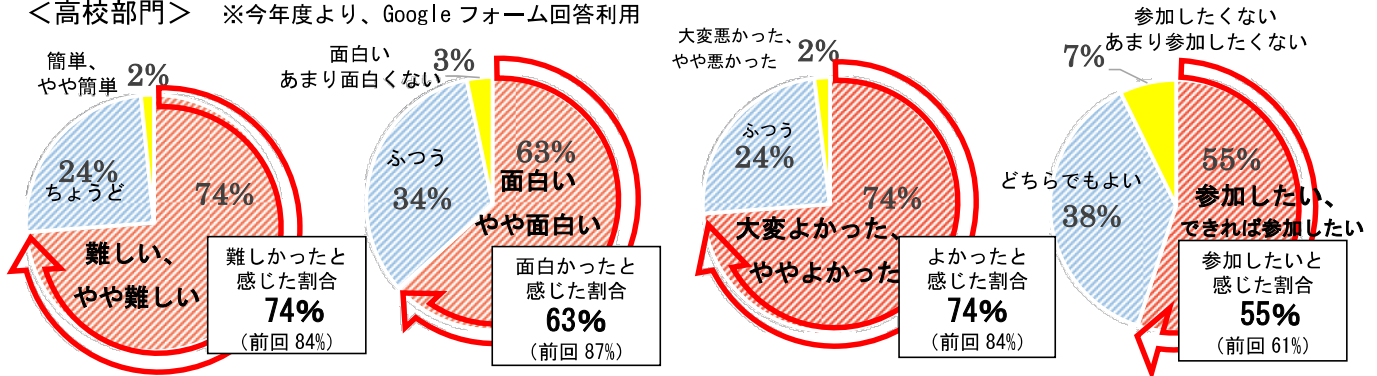
参加してよかったですか

また参加したいですか

<中学校部門>



<高校部門> ※今年度より、Google フォーム回答利用



○ 参加者の感想

<中学校 部門>

- ・とても難しかったが、気づくと嬉しい問題や富山について知ることができる問題があって楽しかった。
- ・普段では解くことのできないハイレベルな問題に挑戦できたのが良かったです。富山の魅力を知りました。

<高校 部門>

◆数学分野

- ・学校のテストでは味わえない面白さがあったとてもよかった。
- ・2人で協力して答えを出すのが今の時代に求められるコミュニケーションを通して課題解決する力を鍛えられて良いなと思った。

◆物理分野

- ・最初はこういったものなのか、よく分かっていなかったが、思考力を問う問題が中心で、考えるのがおもしろかった。実験の実技でもどうしたらよりよいかを考えながらできてよかった。
- ・ペアで話し合いながら実験をするのがとても楽しかった。

◆化学分野

- ・学校ではできないような実験が体験できてよかった。
- ・レベルの高い問題だったので、実験装置を作る時点から大変だったけど、見たことない実験器具などにさわることができて楽しかったです。

◆生物分野

- ・アリの同定が難しかったが面白かった。
- ・問題が思考力を問われるものが多くて面白かった。

「第3回富山県公立夜間中学設置検討協議会」の報告

- 1 設置基本方針（案）「第4章 教育課程、学習指導、学校生活等」について
（主な意見） 資料1参照
 - ・教育課程には、個に応じた柔軟な対応が必要。
 - ・日本語指導を行うが、日本語学校ではないことを理解してもらうことが大切。
 - ・道徳、総合的な学習の時間、特別活動についても工夫して行い、探究的な活動が充実するとよい。
 - ・仕事を終えて各地から移動しても間に合うような時間設定にすることが大切。

- 2 県立夜間中学設置予定地について 資料2参照
（主な意見）
 - ・県立高校定時制（夜間）の施設を活用するのがよい。
 - ・高校側の教育活動に支障をきたさないか慎重に検討する必要がある。
 - ・定時制4校は、県民生涯学習カレッジの各地区拠点となっていることも考慮すべき。

- 3 令和7年度の広報活動・ニーズ調査の実施について 資料3参照
（主な意見）
 - ・入学対象の方に確実に届けるための努力が感じられる。
 - ・個別相談会では想定しない要望も出るだろうが、できるだけ柔軟に応えられるようにしてほしい。

（参考）

- ① 令和6年第12回教育委員会（11/12）
 - ・第1回検討協議会で共通認識した内容を報告
- ② 11月議会
 - ・設置に向けてのスケジュール、設置場所
⇒ 入学希望者のニーズや既存施設の有効活用、交通利便性等の観点から検討
- ③ 令和7年第2回教育委員会（2/14）
 - ・第2回検討協議会で共通認識した内容を報告
- ④ 2月議会
 - ・夜間中学設置準備担当を教育みらい室に設置
 - ・設置場所
⇒ 入学者の状況を把握し、既存施設の有効活用や交通利便性などの観点も踏まえて検討

設置基本方針（案）

第 1 章 公立夜間中学について

第 2 章 本県の現状

第 3 章 公立夜間中学設置に向けた基本計画

- 1 入学対象者
- 2 夜間中学の基本理念（目指す学校の姿）
- 3 育成を目指す資質・能力
- 4 本県の夜間中学における取組
- 5 開校時期（開校までのスケジュール）
- 6 設置場所及び設置形態
- 7 入学時期
- 8 修業年限
- 9 教職員
- 10 費用

第 4 章 教育課程、学習指導、学校生活等

- 1 年間及び週間授業時数
- 2 授業日
- 3 学年及び学級編制
- 4 授業実施方法
- 5 ICT の活用
- 6 特別活動
- 7 その他

第4章 教育課程、学習指導、学校生活等

1 年間及び週間授業時数

- ・年間総時数を700時間程度とする。
- ・1単位時間を40分とし、1日あたり4時間、1週あたり20時間の授業を行う。
- ・市町村立中学校と同様にすべての教科を履修する。授業理解に必要な日本語習得を目指す場合は、教科の代わりに日本語の授業を行う。
- ・学び直しや進学ニーズが多くあることを踏まえ、国語、社会、数学、理科、外国語の各教科の時間数を十分に確保する。音楽、保健体育、美術、技術・家庭の各教科については、内容を工夫し、時間数を減らして実施する。

2 授業日等

- ・月曜日から金曜日までの週5日を授業日とする。
- ・3学期制とし、夏季休業等の長期休業期間を設ける。

3 学年及び学級編制

- ・1学年につき1学級を開設する。
- ・1学級につき、生徒は30名以内とする。

4 授業実施方法

- ・対面による授業を行う。
- ・音楽や美術等の教科は、3学年合同で授業を行う。

5 ICTの活用

全生徒に一人一台端末を配備し、個別最適な学びや教え合い学び合う協働的な学びを組み合わせ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

6 特別活動

生徒会を組織し、学校行事の実施に当たっては、地域や家族との連携を大切にしながら、生徒会とともに検討・計画に取り組む。

7 その他

学業と就労を両立できるように始業時刻・終業時刻を設定するためには、十分な時間の確保が難しいことから、給食は提供しない。ただし、生徒の健康を守るために、校内で食事をとることができる場所と時間を確保する。

県立夜間中学設置に向けた比較

資料2

○交通利便性等も考慮して、可能な限り、県内全域から通いやすい場所に設置する。
○夜間の安全性を考慮する。（生徒は15歳以上）

①新設

- ・開校までに施設整備に要する時間が長期間となる。

②既存の県有施設を利用（庁舎、会館、文化・体育施設）

- ・設置に必要なとなる最低限の床面積を確保できない。

③既存の県有施設を利用（県立学校）

○：対応可能 △：工夫により可能 ×：困難

| | 既存の県立学校施設を利用して設置 | | |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| | 全日制高校 | 定時制（夜間）高校 | 特別支援学校 |
| 教室 | ○/△ | ○/△ | △/△ |
| 特別教室 体育館等 | 部活動のため、一部、特別教室や体育館等の使用に制限あり | 夜間の生徒と時間帯が重なるため、特別教室や体育館等の使用に制限あり | 障害種に合わせた校舎、設備である |
| 交通の利便性 | ○ | ○ | ○ |
| | 最寄り駅から近い学校あり | 最寄り駅から近い学校あり | 最寄り駅から近い学校あり（あいの風とやま鉄道沿線にはなし） |
| 地域の理解 | △ | ○ | △ |
| | 夜間に学ぶ学生の受け入れ経験がなく、地域への説明が必要 | 夜間に学ぶ学生の受け入れ経験あり | 夜間に学ぶ学生の受け入れ経験がなく、地域への説明が必要 |
| 校長室・職員室の確保 | △ | △ | △ |
| | 現在使用しているが、空けることが可能な教室の改修が必要 | 現在使用しているが、空けることが可能な教室の改修が必要 | 現在使用しているが、空けることが可能な教室の改修が必要 |
| 施設運営 | △ | ○ | △ |
| | 時間帯が異なるため、別途運営 | 時間帯が重なるため、一体的な運営可能 | 時間帯が異なるため、別途運営 |

令和 7 年度の広報活動・ニーズ調査の実施について

① チラシ・ポスター作成、配布（5月中旬～6月末）

- 夜間中学説明会・個別相談会開催周知用チラシ・ポスター作成、配布

② 入学希望者を対象としたアンケート調査（5月中旬～7月末）

- はがき付きアンケート兼夜間中学広報の作成、配布 10,000 枚
QRコード付ポップアップの作成、配布
＜主な配布先＞
 - ・関係団体
（国際交流団体、若者サポートステーション、自立支援相談窓口、福祉会館、ひきこもり支援団体）
 - ・教育機関
（市町村教育委員会、図書館、地区センター、小中高保護者 等）
 - ・行政機関
（各市町村庁舎、福祉協議会、保健福祉センター、ハローワーク 等）
 - ・ご協力いただける民間商業施設
（郵便局、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ゲームセンター 等）
- 県のホームページ掲載
日本語、英語、中国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語
- 新聞・ラジオでの周知(富山県からのお知らせコーナー)
- 県の LINE、X からホームページへの誘導
- 夜間中学説明会、個別相談会後のアンケート回収
- 聞き取り調査
関係団体に出向いて、入学希望者に聞き取り調査を実施する。
(国際交流団体、若者サポートステーション、自立支援相談窓口、福祉会館、ひきこもり支援団体、フリースクール 等)

＜内容＞ 対象：学んでみたい本人もしくは関係者

- ・夜間中学に入学したいと思いますか
- ・入学したい理由は何ですか
- ・どこにあれば通えますか（複数市町村名）
- ・通う場合、どうやって行きますか（交通手段） 等

③ 夜間中学説明会①（R7年6月28日、29日）

基調講演（文部科学省）
群馬県教育委員会（県立みらい共創中学校）、石川県あすなろ中学校の
取組紹介（パネルディスカッション）

④ 夜間中学説明会②（R7年11月頃）

富山県立夜間中学の説明

⑤ 個別相談会

各夜間中学説明会後に実施、相談窓口の設置・個別相談継続

と やま けん りつ や かん ちゅう がく かい こう む 富山県立夜間中学開校に向けた アンケートご協力のお願い

▶ やかんちゅうがく ひる ま ちゅうがく おな ちゅうがっこう
夜間中学も昼間の中学と同じ、中学校です。

▶ じゅぎょうりょう じゅぎょうりょう きょうかしょ むしゅう
授業料はかかりません。教科書は無償です。

▶ しゅういつか へいじつ あいだ にち
週5日(平日)、17:00~21:00の間に1日
4時間、週20時間の授業があります。

▶ すべ かてい しゅうりょう ちゅうがっこうそつぎょう
全ての課程を修了すると中学校卒業となります。

まな かね こと
学んでみたい方、声を
聞かせてください



うらめん かくにん
裏面もご確認ください。 Check the back. Verifique o verso.
请检查背面。 Pakisuri ang likod. Vui lòng kiểm tra một sau.



料金受取人払郵便



差出有効期間
2025年7月
25日まで

郵便はがき

9 3 9 8 7 9 0

富山市新総曲輪1番7号
富山県教育委員会
教育みらい室
夜間中学設置準備担当 行



と やまけんりつ やかんちゅうがく くにん し かく
富山県立夜間中学について、詳しく知りたい方
は、下に連絡先をお書きください。お預かりした
個人情報、目的以外の利用はいたしません。

お名前

ご住所

電話番号

メールアドレス

ねんれい だい だい だい だい だい だいいじょう
年齢 (10代、20代、30代、40代、50代、60代以上)

※いずれかに○をつけてください。

たいしやう かく
対象の方

と やまけんないざいじゅう さい いじょう かく
富山県内在住の15歳以上の方で、

- さまざま りゆう ぎ むきょういく しゅうりょう かく
様々な理由で義務教育を修了できなかった方
- びょうき ふ とうこう じゅうぶん まな
病気や不登校などで十分に学ぶことができな
かった方
- ほんごく にっぽん ぎ むきょういく しゅうりょう がいこく
本国や日本で義務教育を修了していない外国
籍の方

や かんちゅうがく いま まな
夜間中学は、「今からでも学びたい」と
いう気持ちにこたえる学校です

やかんちゅうがく くにん
夜間中学について、詳しくは
もんぶ かがくしやう
文部科学省ホームページを
らん
ご覧ください。



お問い合わせ先

と やま けん きょういく い いん かい きょういく しつ
富山県教育委員会 教育みらい室
や かんちゅうがく せつ ちじゅんび たんとう
夜間中学設置準備担当

〒930-8501 とやましんそうが わ ばん ごう
富山市新総曲輪1番7号
TEL 076-444-3370 FAX 076-444-4439
✉ ml-yakanchugaku@pref.toyama.lg.jp

と やまけんりつ や かんちゅうがく 富山県立夜間中学アンケート

質問 1 あなたは夜間中学入学の対象の方（※）
ですか。 ※表面をご覧ください

- ①対象者である
- ②対象者の関係者（家族、知り合いなど）である

質問 2 富山県立夜間中学に入学したい（入学させたい）とおもいますか。

- ①ぜひ入学したい（入学させたい）
 - ②入学したい（入学させたい）が、考え中である
 - ③入学したい（入学させたい）が、難しい
- ※②、③を選んだ方は、理由も教えてください。

質問 3 入学したい（入学させたい）理由は何ですか。（いくつでも選べます）

- ①中学校を卒業していないから
- ②中学校を卒業したが、あまり通えなかったから
- ③中学校を卒業したが、中学校の勉強を学び直したいから
- ④高校などへ進学をしたいから
- ⑤仕事をしたり、今の仕事のために学んだりしたいから
- ⑥日本語の読み書きができるようになりたいから
- ⑦日本語がうまくなりたいから
- ⑧日本の文化や社会について学びたいから
- ⑨友達を作りたいから
- ⑩その他 ※⑩を選んだ方は、自由にお書きください。

質問 4 夜間中学の場所がどこにあれば通えますか。すべて選んでください。

- ①朝日町 ②入善町 ③黒部市 ④魚津市 ⑤滑川市
- ⑥上市町 ⑦立山町 ⑧舟橋村 ⑨富山市 ⑩射水市
- ⑪高岡市 ⑫氷見市 ⑬小矢部市 ⑭砺波市 ⑮南砺市

質問 5 4で選んだ場所に夜間中学があったとすると、どうやって行きますか。（いくつでも選べます）

- ①自家用車 ②電車 ③バス ④自転車 ⑤徒歩

質問 6 富山県立夜間中学について、知りたいこと、不安に思っていることなどがあれば、自由にお書きください。

回答方法 1か2の方法で回答してください。

1 インターネット
二次元コードから回答してください。



中国語
汉语



ベトナム語
Tiếng Việt



日本語



英語
English



タガログ語
Tagalog



ポルトガル語
Português

2 はがき

アンケートの回答を下のはがき部分に書き、切り取って郵便ポストに入れてください。

回答期限 令和7年7月25日(金)まで

と やまけんりつ や かんちゅうがく 富山県立夜間中学アンケート

質問 1 ()

質問 2 ()

②③を選んだ方は理由を書いてください。

質問 3 ()

⑩その他

質問 4 ()

質問 5 ()

質問 6

令和7年3月高等学校卒業者の就職状況について
(令和7年3月末現在調査)

令和7年5月30日
教育委員会教育みらい室県立高校課
経営管理部学術振興課

令和7年3月高等学校卒業者の3月末現在の就職状況は、就職希望者1,424人に対し、就職者は1,422人、就職率は99.9%(文部科学省発表)となりました。
都道府県別の就職率では、福島県に次いで高い県となりました。

| | | 卒業者数 (a) 人 | 就職希望者数 (b) 人 | 就職者数 (c) 人 | 就職率 (d)=(c)/(b) % | 全国 就職率 % |
|----------------|--------|------------------|--------------------|------------------|-------------------------|----------------|
| 令和7年3月 | 県全体 | 7,776 | 1,424 | 1,422 | 99.9 | 98.0 |
| | (うち県立) | (6,102) | (1,057) | (1,057) | (100) | |
| <参考> 令和6年3月 | 県全体 | 8,038 | 1,513 | 1,511 | 99.9 | 98.0 |
| | (うち県立) | (6,295) | (1,124) | (1,122) | (99.8) | |

- ※ 調査対象校種:公立、私立の高等学校(全日制・定時制)
※ 調査対象生徒:民間事業所、公務員、自営等全ての就職希望者の状況をとりまとめたもの。

今後の教育委員会等の日程について

- 令和7年6月30日(月) 10:00 予定
教育委員会 (県庁本館4階 大会議室)